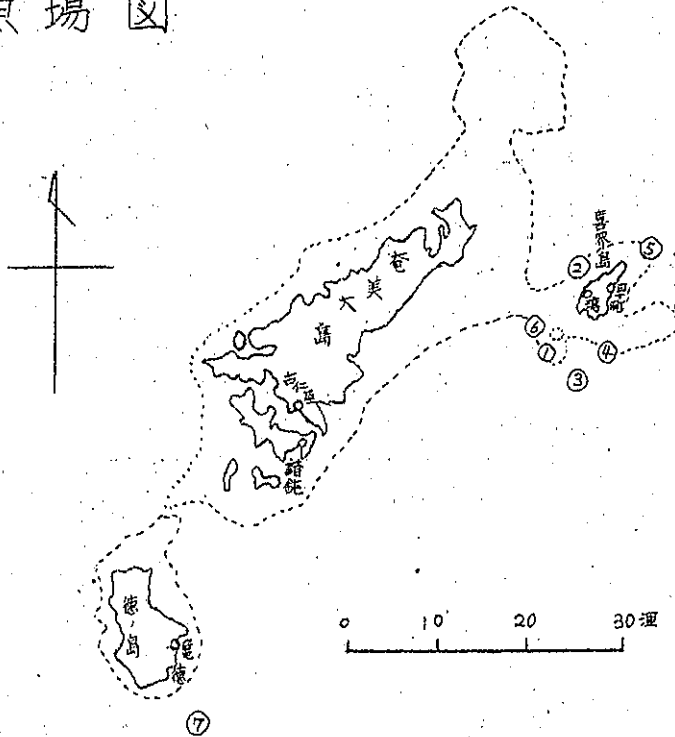


る予定であつたが、ムロの漁獲がなかつたため鹿児島送台10日を経過した冷凍機を使用した。既に橋取高際のため餌付は極めて悪かつた。

(4) 吾界新さねは相当広範な漁場のため容易に好漁位置にあたりにくいが当れば、相当の漁が得られると地元業者は云つてゐる。

(5) 吾界北さねでは昨年好漁があつたとの事であるが山当がさかない。潮の速い処らしいが、時期的にゆるい時があると聞く。

漁場図



三重建網

漁業試験

趣旨

本郡には三重網漁業の操業者少く、又技術的にも進歩をみないので之等の奨励とアミラン網による漁獲増進とを目的に、瀬戸内地区を主とした操業を奨励し、併せて、本郡特異のリーフ地帯に適した漁具の改良を目的に試験操業する。

調査概要

調査区域 瀬戸内地区
 期間 自昭和31年1月20日～2月24日

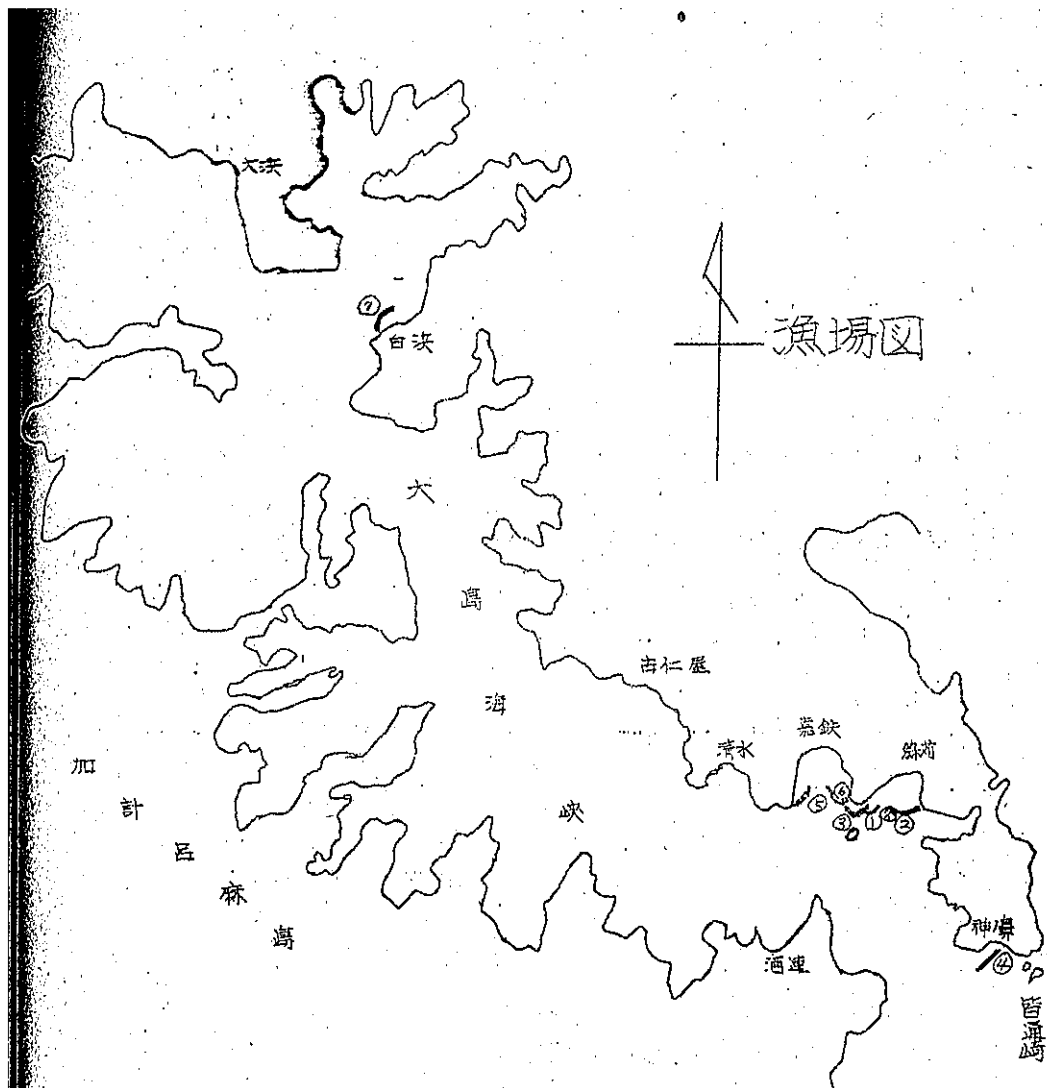
調査船 探検丸 1.74号 12HP
 使用漁具 アミラン系網 7把 綿糸網 17把

経過

漁番	場号	日時	天候	気温	風向力	水温	波浪	潮流向	漁場名	漁獲物
1	投網	1.20.17.15	0	17.4°C	SW 2	20.1°C	1	E緩	蘇州沖岸路の浅	—
	揚網	1.21.7.40	0	14.2	SW 2	20.2	1	W'	水深7-10尋	
2	投網	1.27.16.30	0	16.9	NW 3	19.7	2	E速	蘇州沖	1.650
	揚網	1.28.7.45	0	15.2	NW 2	20.1	1	W'	水深5-8尋	
3	投網	2.7.16.30	0	17.2	NW 2	19.2	1	W'	蘇州入口西端	3.500
	揚網	2.8.6.00	0	9.5	NW 2	19.0	1	W''	3-8尋	
4	投網	2.8.18.00	0	17.0	NW 2	19.0	1	W	蘇州灣管通崎下	1.640
	揚網	2.8.17.30	0							
5	投網	2.8.17.30	0	16.3	NW 2	19.0	1		嘉鉄西口	2.940
	揚網	2.9.7.00	0	14.7	NW 2	18.8	1		8-10尋	
6	投網	2.20.15.30	0	14.5	NE 3	19.1	2	E急	嘉鉄東口	5.740
	揚網	2.21.7.30	γ	10.0	NE 3	18.4	2	E急	水深8-12尋	
7	投網	2.22.16.50	bc	11.0	NNE 3	19.2	2	W緩	西方村白浜	—
	揚網	2.23.7.45	bc	8.5	NE 2	18.5	1	W''	5-10尋	
8	投網	2.23.17.25	0	15.0	ESE 3	19.3	2	E'	蘇州西口	2.400
	揚網	2.24.7.40	γ	9.0	E 3			W''	水深7-10尋	
										17,860

考察

本試験は調査船の関係で瀬戸内海域を対照に操業したので好結果は得られなかつたが外海域に於て操業すれば漁獲の増進は、はかれると思ふ。しかし本郡沿岸の海底は、1)一フを主として形成されて居るので、之に適應した、網構成を考察研究すれば、なほ一層の漁獲が得られると思考する。



かつお節類製造試験

岡田

趣旨

本群島周辺にて漁獲されるかつお類は、節製品として良質な産地を有し、全国的にも有名であるが戦後における製節は先進地に比較し反はないので製節の向上を主眼としてかつお割魚節、肥田割魚節、かつお卸節、かつお本節の各製造試験を実施し、中央の市場における大島節の存在を検討した。

(一) かつお割魚節製造試験

※一次製造試験

場所 大島水産指導所

期間 昭和30年7月19日から同年8月18日